



平成 27 年 9 月 1 日

各 位

会社名 株式会社テラプローブ  
代表者 代表取締役社長 渡辺 雄一郎  
(コード番号：6627) 東証マザーズ  
問合せ先 執行役員 CF0 神戸 一仁  
(TEL 045-476-5711)

業績予想の修正及び  
特別損失（固定資産の減損損失）の発生に関するお知らせ

当社は、平成 28 年 3 月期第 2 四半期において、平成 27 年 7 月 30 日に公表いたしました業績予想を下記のとおり修正するとともに、特別損失を計上することになりましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

平成 28 年 3 月期第 2 四半期累計（平成 27 年 4 月 1 日～平成 27 年 9 月 30 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 11,450	百万円 1,250	百万円 1,240	百万円 780	円 銭 84.03
今回修正予想 (B)	11,500	1,340	1,320	20	2.15
増減額 (B - A)	50	90	80	△760	△81.87
増減率 (%)	0.4	7.2	6.5	△97.4	△97.4
(参考) 前年実績 (平成 27 年 3 月期第 2 四半期)	10,662	540	563	△114	△12.33

修正の理由

当第 2 四半期においては、メモリ事業のテスト受託が予想よりも好調に推移いたしました。この売上高の増加に加え費用の削減も進んだことから、売上高、営業利益、経常利益

は平成 27 年 7 月 30 日に公表した業績予想を上回る見通しとなりました。なお親会社に帰属する当期純利益につきましては下記事由による特別損失の発生により、予想を下回る見通しとなりました。

## 2. 特別損失計上の理由と計上額

別途本日、「ウエハレベルパッケージ事業の譲渡に伴う新設分割及び新設会社の株式譲渡に関するお知らせ」にて公表しましたアオイ電子株式会社への株式譲渡に伴い、平成 28 年 3 月期期末時点の青梅事業所保有の固定資産簿価と株式譲渡による回収可能額を比較した結果、回収可能額が簿価を下回ることから、青梅事業所で保有する固定資産について減損損失を計上いたします。

900 百万円を特別損失（減損損失）として計上する見込みです。

## 3. 今後の見通し

平成 28 年 3 月期第 3 四半期累計期間の業績予想につきましては、平成 27 年 10 月 29 日に第 2 四半期決算短信において開示を予定しております。

（注）本資料における上記の予想を含む記述は、発表時現在に入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績・結果は予想数値あるいは見通しと異なる場合があります。

以上